

COVAX ファシリティ(COVID-19 Vaccine Global Access Facility)について

○概要

- (1) Gaviワクチンアライアンス、CEPI(感染症流行対策イノベーション連合)及びWHOが主導する、ワクチンを共同購入する仕組み。(i)高・中所得国が自ら資金を拠出し、自国用にワクチンを購入する枠組みと、(ii)ドナー(国や団体等)からの拠出金により途上国へのワクチン供給を行う枠組み(Gavi COVAX AMC)を組み合わせている。
- (2) CEPIが開発支援する9種類のワクチン及び他のワクチンを検討対象とし、幅広いポートフォリオを予定。各国におけるワクチン確保の一手段となり得る。
- (3) 高・中所得国は、拠出金をCOVAX に支払い、拠出金は開発や製造設備整備に使われる。高・中所得国を含む国際的に公平なワクチンの普及に資する。
- (4) 令和2年11月24日時点で、高・中所得国97国・地域(EU各国、加、豪、中、韓等。なお、米国は不参加を表明)、途上国92国・地域の計189国・地域が参加(*)。
- (5) 日本は、令和2年9月15日、加藤前厚生労働大臣が契約書に署名し参加した。
(COVAXファシリティへの拠出金約172億円についても支払済。)

○参加方式及び購入量

- (1) 購入オプション方式※で参加
- (2) 購入するワクチン量は人口の20%

※ 購入オプション方式

購入権を確保するが、購入義務は負わない。ワクチンを選択可能。拠出金は1ドーズあたり3.1ドル。なお、参加方式には購入コミット方式もある。

